

ダウン症 家族のまなざし

3/21「世界ダウン症の日」記念
英国発の写真展



Richard Bailey (Sarah After Vermeer)



2014. 3. 21 [金・祝] ~ 3. 30 [日] 11:00~19:00
入場無料 会期中無料 ※ ただし 3月25日(火)は16:30に閉館します

- 主催：伊藤忠青山アートスクエア 公益財団法人日本ダウン症協会
- 特別協賛：伊藤忠商事株式会社
- 協賛：フィールズ株式会社
- 企画協力：渡部麻衣子（日本学術振興会・東京大学大学院情報学環）
- 特別協力：英国ダウン症協会
- 協力：Shifting Perspectives Project 科学技術社会論学会 公益社団法人俱進会
富士ゼロックス東京株式会社 NPO法人国境なき楽団 日本ヘルマンハーブ振興会

- 後援：厚生労働省 外務省 文部科学省 UNICEF(国連児童基金)東京事務所
公益財団法人日本ユニセフ協会 プリティッシュ・カウンシル
公益社団法人日本写真協会 公益社団法人日本写真家協会

- 助成：グレイトブリテン・ササカワ財団
- お問い合わせ： 公益財団法人  **日本ダウン症協会** TEL: 03-6907-1824
FAX: 03-6907-1825
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階
URL <http://www.jdss.or.jp> E-mail info@jdss.or.jp

Shifting Perspectives

「Shifting Perspectives」は、ダウン症のある娘をもつ英国の写真家、リチャード・ベイリー氏が中心となり、2005年から9年間にわたって英国ダウン症協会が行った写真プロジェクトです。家族にダウン症のある人がいる写真家など22名が参加し、医療や福祉の領域とは一線を画す「ダウン症」の新たな表現に挑戦しています。家族の愛情豊かなまなざしで撮り続けたこれらの作品は4大陸7ヶ国で巡回され、各地で深い感動と大きな反響を呼びました。このたび、国連が制定した「世界ダウン症の日」を記念して、ついに日本での公開が実現します。

本展は、ダウン症のある人たちの姿を多くの方々に知っていただき、障がいの有無に関わらず多様な個性の人々がその人らしく生きることのできるインクルーシブな(包み込む)社会について、広く社会のコンセンサスを得ることを目的としています。出生前診断の実施に伴ってさまざまな議論がされる今、これらの作品は見る人に命の尊さや幸福の意味を問いかけることでしょう。

今回はベイリー氏の代表作《365》のオマージュとして、日本の子どもたちによる《365》を特別に制作いたしました。日本と英国の交流が始まって400年という節目にあたり写真展を通じた日英の子どもたちの交流も是非ご覧ください。



Richard Bailey 《Employment》



Richard Bailey 《Culture & Religion》



Richard Bailey 《365(部分)》



Richard Bailey 《Employment》



Fiona Bailey 《I Don't Care》



Fiona Yaron-Field 《Disclosure》



Emer Gillespie 《Picture You, Picture Me》

イベント

- 3/23 [日] 14:00~14:45 庄野 真代さんのギャラリー・コンサート
(NPO 法人「国境なき楽団」代表理事)
- 3/29 [土] 13:30~14:30 日英の写真家によるギャラリー・トーク
リチャード・ベイリー氏(「Shifting Perspectives」監修者)
橋口 譲二氏(写真家)
- 3/30 [日] 13:00~15:00 ヘルマンハーブのコンサート



庄野 真代さん



リチャード・ベイリー氏と
お嬢さんのペリー・ジョーさん



橋口 譲二氏



ヘルマンハーブのコンサート

伊藤忠青山アーツスクエア

〒107-0061 東京都港区北青山2-3-1 シーアイプラザ B1F
■ 東京メトロ銀座線(外苑前) 駅出口4aより徒歩2分 ■ 有料駐車場あり

詳しい情報は▼

お問い合わせ▼

<http://www.itochu-artsquare.jp> TEL.03-5772-2913

